NEXY

SUMMIT 2027

運営チームのご案内

2027年3月26日（金）

大田区産業プラザPiO











目次

この資料でわかること

01 NEXY SUMMITとは

02 どんな仲間がいるか

03 大事にしていること

04 運営で得られるもの

05 6つのチーム

06 スケジュール

07 もっと知りたい人へ

08 よくある質問とこれからの流れ

読み終わったら、最後のページの流れに沿ってフォームに回答してください

01　NEXY SUMMITとは

NEXY SUMMITとは

「やりたい」を持つ同世代と、
一日で出会える学生サミット

登壇者の話を聞いて終わり、ではありません。自分の「やりたい」を話し、同じ熱を持つ仲間を見つけて帰る一日です。起業している人も、何かを始めたい人も、「面白そう」で来た人も集まります。

日時
2027年3月26日（金）

会場
大田区産業プラザPiO

参加費
無料

対象
高校生・大学生が中心

目標来場者　800人







01　NEXY SUMMITとは

当日、何が起きるか



セッション

同世代の学生と大人が、起業・AI・海外などのテーマで本音で話す



プレゼン大会

学生が自分の「やりたい」をステージで発表する。約110分の大舞台



ワークショップ

聞くだけでなく、手を動かして話す。2本を予定



交流ラウンジ・団体ブース

学生団体や学校の探究活動に出会い、仲間を探せる

ずっと開いている場所

やりたいウォール

参加者の顔写真と「やりたい」を一面に並べる。声をかけるきっかけになる

ずっと開いている場所

アフターパーティー

17時から19時。本編のあと、参加者同士でゆっくり話せる時間

10:30　開場

11:00　プログラム開始

17:00　アフターパーティー

01　NEXY SUMMITとは

会場は大田区産業プラザPiO







写真は大田区産業プラザPiOの公式サイトより。ほかの催しで使われたときの様子です

目標来場者

800人

2026の約2倍の規模に挑む

大展示ホールを丸ごと使う

約1,600㎡・天井高11.8m

ひとつのホールで、聞く・話す・出会うが全部起きる

京急蒲田駅から歩いてすぐ

01　NEXY SUMMITとは

写真で見る2026















本番の会場と、本番までの準備会の様子

どんな仲間がいるか







2026の運営は52人

自分で何かを始めている人
学生団体の代表、ブランド運営、起業準備中など

まだ「やりたい」を探している人
運営を通して、やりたいことが見つかった人もいる

発信やものづくりが好きな人
SNS、写真、動画、デザインを本番で試せる

人と話すのが好きな人
初めて会う人とも、すぐ打ち解けられる

2026から続けている人
統括・サブ統括の多くは2026の運営経験者

運営は初めての人
2026の運営も、初めての人がほとんどだった

学年は関係ありません。動いた人に、役割が回ってきます

03　大事にしていること

ミッション・ビジョン・バリュー

ミッション

**「やりたい」を、
ひとりにしない。**

ビジョン

**「やりたい」があふれる
社会をつくる。**

バリュー　運営メンバーも代表も、この3つで動く

01

自慢より、夢を語れ。

今のすごさではなく、作りたい世界と、そのために今やっていることを語る

02

背景から、わかり合う。

相手を責める前に、その人の状況や前提を聞く

03

素直に、高め合う。

指摘を素直に受け取り、上下ではなく横で伸ばし合う

03　大事にしていること

運営で大事にしていること

その1

一人ひとりの「やりたい」に向き合う

在籍しただけの「ガクチカ」にするのは、もったいない。面談やチームの中で、こんなことを一緒に考えます

- 何を伸ばしたい？
- 何を得たい？
- 弱みは何？
- あなたはどんな人？
- それは夢にどうつながる？

その2

当日だけの関わりにしない

約2か月、オフラインでも集まりながら、仲間と一緒にサミットをつくります

その3

自慢する人、見下す人、けなす人はいない

参加者にも、運営にも、登壇者にも。安心して「やりたい」を話せる場所にします

運営で得られるもの

01　圧倒的な自己成長

強みはとことん生かし、苦手なところにも挑戦できる役割がある。面談で決めた「伸ばしたいこと」に、2か月本気で向き合う

02　ゼロから場をつくった経験

800人が来る一日を、企画から本番まで自分たちの手でつくる。やり切った経験は自信になる

03　熱量の高い同世代の仲間

学校ではなかなか出会えない仲間と、同じ目標に向かう。終わってからも、次の挑戦で声をかけ合える

04　登壇者や大人とのつながり

アフターパーティーでは、運営だけが登壇者や協賛企業の大人と話せる時間がある



チームごとに得られることは、次の章で紹介します

05　チーム

6つのチーム



メディア

SNSでの発信、当日の撮影、事後の動画づくり

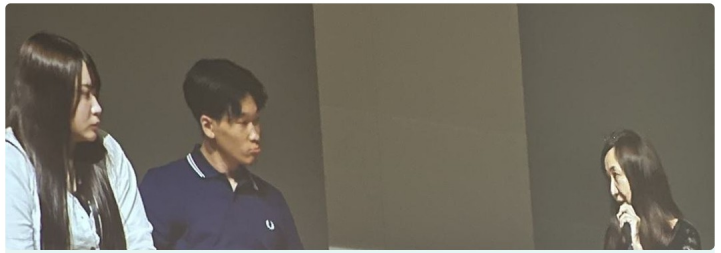
得られる：PDCAを回す力と第三者の目線



A会場

メインステージ。プレゼン大会や大きなセッション

得られる：やり切る力と責任感



B会場

セッションとワークショップ

得られる：人をワクワクさせる場の設計



常設

団体ブースと交流ラウンジ

得られる：人が集まる空間をつくる力



レセプション

受付と入場。来場者が最初に会うチーム

得られる：大人数を回す仕組みと現場の指揮



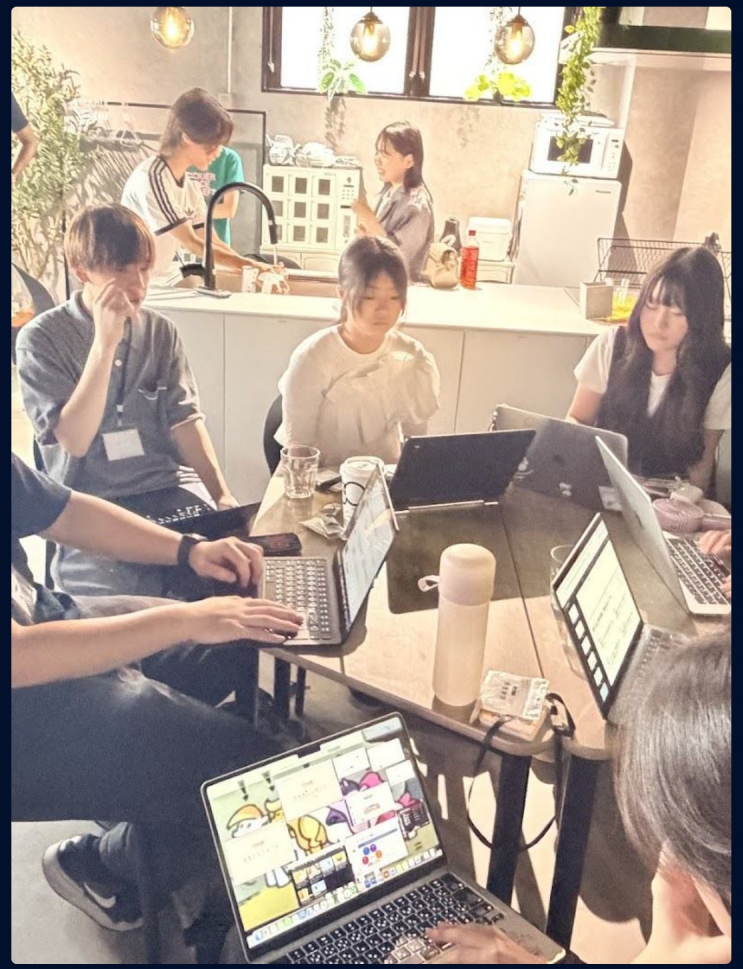
誘導

登壇者を控室からステージへ誘導し、来場者も案内する

得られる：登壇者との近さとホスピタリティ

05　チーム

メディア



サミットの熱を、会場の外に届ける

得られること

01
PDCAを回す力
投稿して、反応を見て、次を変える。これを2〜3月ずっと回し続ける

02
第三者の目線
見る人にどう映るかを、いつも外側から考え続ける

03
企画と編集
誰に何を届けるかを決め、写真や動画を伝わる形に仕上げる

未来へのつながり

どうすれば人に届くかを、数字と第三者の目線で考え続ける癖がつく。自分の団体やプロジェクトを広めるときも、仕事でも、そのまま使える

準備　SNSの企画と投稿、告知の素材づくり
当日　撮影と速報の発信、事後の動画づくり

05　チーム

A会場



サミットの目玉を背負う、メインステージ

得られること

01
責任感
プレゼン大会や目玉のセッションを任される。メインステージの一日を背負う

02
スピード感のある連携
アイコンタクトひとつで、登壇者の入りや転換を回す

03
本番の判断力
時間が押したときや想定外のとき、その場で決めて動く

未来へのつながり

運営でいちばん大変と言っても過言ではないチーム。最後までやり切った経験は、この先どんな大舞台に立っても支えになる

準備　進行台本とタイムテーブル、音響・映像との打ち合わせ
当日　ステージ進行、プレゼン大会の運営

05　チーム

B会場



人の気持ちが動く、対話とワークショップの場をつくる

得られること

01
ワクワクをつくる力
楽しい、来てよかったと感じる瞬間を、どうつくるかを考える

02
ワークショップの設計
参加者の大事な時間を預かる責任のもとで、変化が生まれる設計を考える

03
ファシリテーション
参加者の声を引き出し、場の空気を前向きに動かす

未来へのつながり

人の感情を動かす場を設計できる力は、イベントでも、教育でも、ものづくりでも生きる。自分で場を立ち上げるときの土台になる

準備　ワークショップの中身づくり、進行台本
当日　進行とファシリテーション、参加者のサポート

05　チーム

常設



1日中開いている、出会いの場所をつくる

得られること

01
空間の設計
ブースとラウンジの配置を考え、人が回る流れをつくる

02
交流の仕掛けづくり
やりたいウォールや交流の時間を企画する

03
出展者との段取り
出展する団体と、当日の動きをすり合わせる

未来へのつながり

出展する学生団体や大人とのつながりが、いちばん増えるチーム。やりたいことの相談相手や、次の挑戦の仲間が見つかる

準備　ラウンジとやりたいウォールの企画、出展団体との段取り
当日　ブースの運営サポート、交流の場づくり

05　チーム

レセプション



800人を、詰まらせずに入場させる

得られること

01
仕組みの設計
受付の数・人の配置・動線を、来場の数から逆算して決める

02
現場の指揮
開場直後の混雑で、人を動かして流れを止めない

03
想定外への対応
申し込みが見つからない、遅れて来た。その場で判断して解決する

未来へのつながり

大人数を回す仕組みをつくる力は、イベントでも会社でも求められる。人に指示を出して動かす経験が積める

準備　受付の流れと配置の設計、名札の準備
当日　受付と入場の運営、混雑したときの整理

05　チーム

誘導



登壇者を、最高の状態でステージへ送り出す

得られること

01

登壇者と一番近くで話せる

控室からステージまで付き添う。登壇者と直接話せるのは誘導チーム

02

ホスピタリティ

登壇者が安心して本番に向かえるよう、先回りして気を配る

03

先を読む力

次に動く人と時間を読み、遅れや迷いを先に防ぐ

未来へのつながり

挑戦している人の話を、すぐそばで聞ける。その出会いが、自分の次の一歩のきっかけになる。相手の立場で先回りする力は、どこに行っても頼られる

準備　登壇者の動きと誘導ルートの確認、当日の配置決め

当日　登壇者の誘導（控室からステージまで）、来場者の案内

06　スケジュール

運営のスケジュール

11月〜1月
面談・チーム配属
15〜30分の個別面談

2月14日（日）
キックオフ
全員集合。初めて顔を合わせる日

2月〜3月
チームの定例
週1回か隔週。オフラインで集まる日もある

3月14日（日）
全体リハーサル
日程は調整中

3月25日（木）
前日設営
全員集合。昼から会場をつくる

3月26日（金）
本番
全員集合。夜まで

4月18日（日）
プレゼン大会・打ち上げ
全員集合。参加前と後の変化を発表

動き出しは2月中旬から
それまでは面談と配属だけ

もっと知りたい人へ

サミットを知りたい人はこちら



2026のダイジェスト動画
youtube.com/watch?v=fddgorgEkJc

運営についてもっと知りたい人はこちら（ON MUTE）



NEXY Summitのチームづくり　前編
youtube.com/watch?v=rRUOZjH8Wy4



NEXY Summitのチームづくり　後編
youtube.com/watch?v=3UGZ62cf-s0

NEXYについて知りたい人はこちら
NEXYの公式サイト　nexyhub.jp

よくある質問

運営は初めてでも大丈夫？

大丈夫です。2026の運営も初めての人がほとんどでした。

学校や受験と両立できる？

準備の多くはオンラインです。テストや受験の時期は面談で相談してください。

遠くに住んでいても参加できる？

できます。準備はオンラインが中心で、本番の2日間だけの参加もできます。

交通費や宿泊費は？

交通費は各自負担です。遠方の人の3月25日・26日の宿泊はNEXYが手配します。

友達と一緒に入れる？

入れます。それぞれフォームから申し込んでください。

選考はある？

あります。得意・不得意ではなく、報連相ができるか、自分のやりたいことを話せるかを見ます。

これからの流れ

01
この資料を読む

運営の中身と関わり方を知ってもらいます

02
フォームに回答

やりたいことや使える時間を書いて送ってください

03
個別面談

代表や各チームの統括・サブ統括と話し、参加とチームを決めます

04
2月中旬から動き出し

2月14日のキックオフで全員が合流します

参加が決まった人から、運営で使うDiscordサーバーに順次招待します

18歳未満の人は、保護者の方の同意をもらってから参加してください